

令和3年6月11日

各部局等の長  
事務局各部長  
オープンファシリティセンター長

殿

総合安全管理部門長  
岡田 哲 男

研究室及び部局等におけるヒヤリハット事例の共有及び活用について（依頼）

本学では、年間約140件の事故、そのうち実験系事故は約50件発生しております。事故の背景には、その数倍のヒヤリハットが存在します。各ヒヤリハット事例を認識し、その原因を把握することは、重大な事故の発生を未然に防ぐために極めて有効です。

各研究室、各部局等におかれましては、既にヒヤリハット事例を収集し、共有していることと存じます。これを習慣化するために、各研究室等において週1回程度ヒヤリハット事例を共有し、議論する機会を設けていただきますようお願いいたします。

記

① 研究室等におけるヒヤリハット事例の共有について

研究室等において、1週間に1回、ヒヤリハット事例を共有して事故につなげないための方策を議論する場である「週一安全連絡会」を設ける。連絡会では、研究室内外で発生したヒヤリハットおよび事故を報告するとともに、事故につながる要因を分析し、事故を未然に防ぐための方策を研究室の全ての構成員が議論し、共有する。これにより、危険を察知し、予防行動をとる習慣の定着を図る。

② 部局等におけるヒヤリハット事例の共有について

各研究室で発生したヒヤリハット事例を部局の担当事務へ連絡し、事例を分類・蓄積する。部局の安全衛生委員会等を通じて事例を報告することにより、方策の共有及び注意喚起を行う。

【本件担当】

総務部安全企画課 大澤・原田

内線 3407・7187

e-mail:sog.anz.kik@jim.titech.ac.jp